

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなる		
	やや良くなる	住宅販売会社（経理担当）	・新規発売物件の効果により、全体的な契約数が増加する。
	変わらない	商店街（代表者）	・イラク情勢が悪化するため、良くなる希望が持てない。
		商店街（代表者）	・イラク情勢が2～3か月以内に終了すれば変わらないが、長引くと確実に悪くなる。
		百貨店（総務担当）	・先月までは春物を中心に婦人服が伸びたが、今月は一転してマイナスに転じたため、先行きも不透明になっている。 ・イラク情勢の悪化から、売上高、来客数ともに減少気味となっている。混沌とした国際情勢、所得減少の現状では、今後もなかなか消費は回復しない。
		百貨店（営業担当）	・将来に対する生活不安が続いており、消耗品などの生活必需品しか購入されない状態が今後も続く。
		百貨店（売場担当）	・夏物の主力となる商品が見つかっておらず、何を打ち出すのか業界でも悩んでいる。客もメディアに敏感で、イラク情勢の報道内容が緩和されない限り、客の財布のひもは固い。
		スーパー（店長）	・世界の経済情勢、国内の雇用情勢などから、良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・低価格層の客と中、高価格層の客との購買行動の違いが歴然としている。
		家電量販店（店長）	・商品の売行きは上向いているものの、販売数は急激には増加しておらず、減少することもない。 ・パソコン関係は好調であるが、洗濯機、冷蔵庫関係などは芳しくなく、商品による浮き沈みが激しいため、全体的な景気動向は変わらない。
		家電量販店（予算担当）	・パソコンなどの買い換えの長期化により厳しい。
		乗用車販売店（総務担当）	・受注があるのはコンパクトカーのみで、高級乗用車関係が売れる見込みがない。
		自動車備品販売店（経営者）	・イラク情勢が悪化しているが、それまでも十分に景気が悪いので、これ以上の悪化はない。 ・引き続き消費が活発化しないため、この悪い状態が当面続く。
		高級レストラン（スタッフ）	・夕食帯の来客数の減少、客単価の低下傾向も続いており、今後もそのような状況が続く。
		観光型ホテル（経理総務担当）	・国内観光では多少来客数が増加することもあるが、予約状況からは、イラク情勢の影響であまり上向きにはならない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来客数はある程度あるが、客単価が低下している状態が続いて、当分上昇しそうにない。
		旅行代理店（団体営業担当）	・イラク情勢の悪化が長期化する懸念があるため、変わらない。
		通信会社（企画担当）	・イラク情勢の悪化から、先行きは非常に不透明だが、当社の扱う商材については春以降、多少動きが上向きになる。
		通信会社（総務担当）	・現行サービスへの加入状況が好調であり、この傾向は当分続く。
		通信会社（営業担当）	・キャンペーン合戦のため客単価は低下しているが、客は更に低い価格を要望しており、新サービスへの乗り換えには様子見の状態が続く。
テーマパーク（広報担当）	・イラク情勢の悪化で国内旅行の増加が予想される反面、マイナス要素も多いため、大きな伸びは期待できない。 ・選挙の影響が懸念され、その時期には団体旅行が減少する。		
テーマパーク（業務担当）	・イラク情勢による変化の要因はあるが、あまり変わらない。		
ゴルフ場（従業員）	・ゴルフが生活に密着していないレジャー産業であることから、後回しにされる。 ・料金が最低水準まで落ちていることから、総売上はさほど変わらない。		
レジャー施設（営業企画担当）	・宴会の受注件数が、例年を上回る状況も出始めているが、温泉ホテル、日帰り温泉などは、動員数を割り込んでおり、まだまだ厳しさを乗り越えたとは言いがたい。		
住宅販売会社（従業員）	・客の要望や契約状況から、現在の状況が続く。		
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・イラク情勢もあるが、色々な理由をつけて金を使わない状態がますます強くなっていく。	

	一般小売店 [ 100円商品 ] ( 店員 )	・イラク情勢が悪化して以降、食品値上りの噂もあるため、財布のひもも固くなり、あまり物が動かなくなる。	
	百貨店 ( 売場担当 )	・客も取引先も百貨店もリスク回避に重きを置く異常な状態が続いており、単価も低下している。 ・取引先もベーシックな商財を中心に偏っており、欠品も大変多い。	
	百貨店 ( 売場担当 )	・イラク情勢の影響か、世間が不景気なためか、入社や入学などで子女が物いりなため他の購入を控えているためか判断できないが、当店の客層である40歳から50歳代をターゲットとして、今まで好調だった高級衣料の売行きが、3月中旬くらいから急に悪化している。	
	スーパー ( 店員 )	・イラク情勢の悪化は長引きそうで、石油、ガソリンも値上がりしているため、紙不足や商品価格の高騰というような動きが出てきそうである。 ・悪くなる要素はあるが、良くなる要素はない。	
	衣料品専門店 ( 地域ブロック長 )	・イラク情勢の悪化から、物価に対する不安が大きくなっており、更なる購買意欲の低下が懸念される。	
	家電量販店 ( 店長 )	・来店客も少なく、販売単価も低い。エアコンの出足も遅くなっている。	
	乗用車販売店 ( 経営者 )	・イラク情勢や政治などの安定化があれば状況は変わるが、3月の最大の需要期に、相当量を確保するために、若干の無理やキャンペーンも行い、4月以降の先食いがあったため、その反動が4月、5月あたりに出てくる。	
	乗用車販売店 ( 統括 )	・イラク情勢の悪化から石油価格の高騰が始まると、ますます大型車、高級車は売れなくなる。またユーザーは一度の体験で車は小さくても問題はないと思うようになり、高級車に戻らなくなる。 ・イラク情勢の影響で、ユーザーが買い替え周期を大幅に延長することが懸念される。	
	住関連専門店 ( 広告企画担当 )	・集客費用が変わらないため、客単価が上昇しない限り、利益が出ず、良い方向には向かない。	
	その他専門店 [ 時計 ] ( 経営者 )	・客は買物をするより、現金を手元に置いて置いて様子見をする方が良いと感じている。	
	一般レストラン ( 店長 )	・新入社員の歓迎会の予約が、例年ほど入っておらず、また例年ならば年度始めに入る接待などの予約が非常に少ない。	
	都市型ホテル ( 従業員 )	・現在の商品の販売推移から、低価格商品を選ぶ傾向が更に進行する。	
	旅行代理店 ( 経営者 )	・イラク情勢の安定までにどれくらいかかるかが売上に大きく影響する。 ・東南アジアにおける重症急性呼吸器症候群の流行も原因が分からず、このままの状況では先行き不透明である。	
	パチンコ店 ( 企画担当 )	・イラク情勢に伴う日本の戦費負担により、税金の個人負担が増加し、その影響がレジャー産業に及ぶ可能性もあるため、好転の兆しがみえない。	
	設計事務所 ( 経営者 )	・イラク情勢の悪化により、今後の経済状況は低迷する傾向にある。大型の公共投資がある程度あるにしても、小さい公共投資などを踏まえての経済の流れが滞りつつあり、全体的な投資の傾向が消極化している。	
	設計事務所 ( 職員 )	・健康保険自己負担率の増加、発泡酒税率アップ等の個人負担が大きくなる一方で、イラク情勢の悪化による原油価格の上昇などの社会経済不安が増加し、個人住宅の新築、改造が控えられる。	
	悪くなる	商店街 ( 代表者 )	・イラク情勢が一番の懸念材料で、情勢が2～3か月の短期で終わるようであれば、景気には影響はないが、長期化すれば客の消費意欲が冷えてくる。
		一般レストラン ( 営業担当 )	・イラク情勢が影響して悪くなる。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業 ( 経理担当 )	・イラク情勢が安定することにより、欧州向けの受注も回復する。
	変わらない	農林水産業 ( 従業者 )	・例年の魚場でも期待する水揚げができない。水温や潮の関係など様々な条件が重なり、漁獲の先行き予測もままならない。
		窯業・土石製品製造業 ( 総務経理担当 )	・鉄鋼業の生産状況の好調さが継続することから、生産量も一定の水準が維持できる。ただ、イラク情勢次第で生産が左右される懸念がある。
		鉄鋼業 ( 広報担当 )	・アジアを中心に引き続き高い需要があり、引き続きフル操業が続く。

	建設業（営業担当）	・今まで止まっていた土地の売買が少しずつ動き出しているが、良くなるにはもう少し時間がかかる。
	通信業（社員）	・イラク情勢の悪化もあり、公共事業も上向きにならないこと、ブロードバンドの全国的な構築も下火になっていることなどから、今の景気は変わらない。
	金融業（業界情報担当）	・得意先において新型車の生産開始により、操業は一段と高まると期待できるが、コストは厳しさを増す一方であり、収益改善は限定的なものにとどまる。イラク情勢の不安定が長引けば、輸出急ブレーキにつながる懸念がある。
	広告代理店（営業担当）	・自治体合併のメリットが見えず、広告にも反映してこない。逆に告知広告などが減少する恐れがある。 ・民間が堅調に推移すれば、状況は変わらない水準で推移する。
	コピーサービス業（管理担当）	・従来の主力商品は依然として15%近い下降傾向にあり、いまだ新商品によるカバーができていない。 ・営業部門、生産部門も新体制への切替えを行う計画をしているが、時間を要する。
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・OEM商品の受注発注量の不安定から、会社自体の経営が難しくなる。 ・自社ブランドを立ち上げようとしているが、なかなか先行きがみえない。
	繊維工業（統括担当）	・イラク情勢の悪化などから、まだまだ良くならず悪くなる。
	木材木製品製造業（経理担当）	・個人消費が伸びないうえ、イラク情勢の影響もあり、売上が下がってくる。
	化学工業（総務担当）	・イラク情勢の悪化が長期化すると、原油価格の上昇に伴い、製造原価が上昇することから、利益は増加しない。
	化学工業（総務担当）	・原料価格が減少傾向にあるものの、今後のイラク情勢の悪化が長期化すれば、再び上昇に転じることが予想され、収益的に更に厳しくなる。
	鉄鋼業（総務担当）	・営業の受注活動情報や3月の受注量、4月以降の受注予定などから、半導体関連材料は上向きになり始めていたのに、現在は動きがみえなくなっている。 ・堅調だった自動車関連材料の動きが鈍くなることが予想されており、急に不安感が増してきている。
	電気機械器具製造業（広報担当）	・イラク情勢の悪化により、アメリカの景気回復が遅れることが危惧される。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・在庫が余り気味で、この半年の間は例年より受注が落ち込んできている。
悪くなる	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・デフレ状況が改善されず、4月から公共料金も値上げされるうえ、イラク情勢の悪化など、悪い影響しかない。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	-
	人材派遣会社（経営者）	・年度末で人材派遣契約を終了するケースが大変多い反面、新規求人も活発になっている。顧客企業は人材派遣を厳しい判断のもとに限定的に活用する姿勢を強めている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・イラク情勢の影響もあるが、市況が良くなり雇用拡大につながるものがない。中国地方においては従来と変わらず、悪くも良くもならない状況で推移していく。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・3月の求人広告実績は、久しぶりに例年レベルに達し、明るさが出てき始めているものの、大幅なV字回復は見込めそうにない。
	職業安定所（職員）	・年度始めを迎えて、大量離職が発生する情報も寄せられており、新規求職は引き続き高水準で推移すると見込まれる。
	職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるが、求職者数は変わらない。
	職業安定所（職員）	・新規求職申込み件数が比較的増加している。特に男性の増加が目立っており、採用別に見ると無業者が大きく増加しているが、全体的には変わらない。
やや悪くなる	人材派遣会社（支社長）	・イラク情勢の悪化で今後の情勢がみえず、雇用情勢もやや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・建設業のほか、一部製造業にも人員整理の動きがみられる。
	民間職業紹介機関（職員）	・業務遂行能力で中程度からやや上程度の人が応募できる正社員の求人が少ない。
悪くなる	新聞社職員〔求人広告〕（広告営業担当）	・好材料が全くない状況のうえ、イラク情勢の悪化で国際経済の悪化が顕著になり、石油、資源の価格高騰など消費に悪影響が及ぶことから、雇用状況も悪くなる。